

基調講演

午前中のウォーキングでB地区湿地を積極的に案内して下さった早稲田大学自然環境調査室 調査主任の大堀 聡 先生に「新河岸川支川源流域の湿地保全について」をテーマに、砂川源流部湿地の生物の多様性とその保全についてお話いただきました。

主な内容は以下のとおりです。

- ・狭山丘陵の成り立ちとその特徴
- ・生物学的な観点から見た狭山丘陵の重要性
- ・保全生態学の観点からも狭山丘陵の雑木林と周辺湿地は多様性という点で重要
- ・B地区湿地は県内252箇所の湿地の内最大級で、かつ生物多様性に恵まれている
- ・B地区湿地の現状と保全活動の方法



大堀 聡(早稲田大学自然環境調査室
調査主任)